

TANNOY

取扱説明書

Autograph Mini TANNOY LOUD SPEAKER

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読み
ください。また、お読みになったあとは、いつで
も見られるところに保証書と一緒に大切に保管し
てください。



9A10357403

タンノイ ヒストリー

1926年のロンドンで、ガイ・R・ファウンテンは新しいタイプの電気整流器を発明しました。この整流器は特別な電解質溶液で作られた2つの異なる金属:タンタルム(Tantalum)と鉛合金(alloy of Lead)で出来ていました。この発明が成功し、ガイ・R・ファウンテンはタンタルム(Tantalum)と合金(alloy)を足して短くしたTANNOYという名前の会社を創立し、このブランドネームはすぐに世界的に有名になりました。

DC電源のマグネットを搭載したコイル可動式スピーカー開発がタンノイのスピーカーテクノロジー分野への参入のきっかけとなりました。そして、1933年にはディスクリット2ウェイ方式のスピーカーシステムを開発し、タンノイはPA分野で世界的に有名となり、続く数十年の間、無数の名門施設に採用されていくことになりました。オックスフォード英語大辞典には、TANNOYという言葉が一般的なPAシステムを示す単語として採用されています。

有名なデュアル・コンセントリック(同軸2ウェイ)のドライバーの動作原理はガイ・R・ファウンテンの指示に基づいて、1940年代末に生み出され、開発されました。デュアル・コンセントリックの原理は、その極めてユニークなポイント・ソース(点音源)分散特性によって、現在でも熱的な音楽愛好家、レコーディング設備、放送スタジオなど世界中で高く評価されています。高域用のユニットが低域用ユニットの後ろ側に同軸上にマウントされている複雑な設計によって低い周波数と高い周波数が1点を音源として完全に統合されるのです。このデザインによって、デュアル・コンセントリック・ドライバーは極めて独自性の高い音楽再生性能を実現しているのです。

そして1954年には「コンサートホールを我が家に」という壮大なテーマに挑み、タンノイ不朽の名作とうたわれた「Autograph」※が登場し、現在でも熱的な愛好家に高く評価されています。

※ *Autograph*という型名は、正面の銘板に、設計者であるガイ・R・ファウンテンの署名(オートグラフ)が刻まれていることに由来します。

特 長

タンノイ社で最も小型の新設計10センチ(4インチ)同軸2ウェイ・ユニットを搭載。

高周波も低周波も同じ軸上から放射される同軸ユニットは音像の分解能と定位感に優れ、より自然な音場を再現します。

- ・ 同軸2ウェイ・ユニットのウーハー部は軽量化と剛性を両立させ、過度特性を向上させる為、ペーパーコーンにはいくつかの異なるファイバーが混入された高圧縮加工のマルチファイバー・ペーパーコーンを採用。質感も一段と向上し、低音レスポンスに優れた再生を実現しています。
- ・ 同軸上に設置されたツイーター部は54kHzまでの再生が可能な広帯域設計。ドーム型チタニウムダイアフラム/ネオジウムマグネットにより、倍音の豊かな質感に優れた再生音を得られます。また振動板からの音がタンノイ独自設計の超精密成型のテクノ・ウェーブガイド(TW)によるエクスポネンシャルホーンにより正確な球面波が作りだされ、滑らかな高域再生に加え、再生帯域全般にわたり音場空間(奥行き感)豊かな再生を実現します。

バーチ材を使用した贅沢なエンクロージャー、そしてフロントグリルは「Autograph」と同一のチーク材による美しいリアルウッド仕上げ。

厳選されたバーチ(樺)材の高密度積層合板と、厳しい品質管理の元に手作業で研磨されたチークの無垢材と突き板で仕上げられています。全質量4kgの堅牢なエンクロージャーは不要振動や共振を抑え、パワーを上げてもエンクロージャーの共振が極めて少なく、パワフルな重低音再生に効果を発揮します。

音楽的な表現力を一段と高めるバーチ(樺)材とチークのリアルウッドで仕上げられたエンクロージャーとフロントグリルは、「Autograph」と同じブラウンとベージュの糸を織ったサラネットと相まって、時代を超えた風格とクラシカルモダンなデザインをダウンサイジングの中に見事に表現しています。

高音質部品を採用。

ウーハーのワイヤリングにはオランダvan den Hul社のシルバーコーティング線材、ツイーターワイヤリングには高純度の4N(99.99%)シルバー単線を採用。クロスオーバー回路には低損失インダクターに加え内外振動を排除するオーディオグレードの防振コンデンサーを採用しました。

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

ご使用前に

安全にお使いいただくために

あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



強制

アンプなどに接続する際は、接続する機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。

また、接続は指定のコードを使用する。



強制

電源を入れる前には音量を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、または振動の多い場所に置かない。

落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で、使用しない。

スピーカーユニットが発熱し、火災や損傷の原因となることがあります。

使用上の注意

- エンクロージャーや前面グリル部に硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- 本機は防磁設計になっていますが、テレビに近づけて設置した場合、まれに色むらが出ることがあります。そのような場合にはスピーカーをテレビから離し、色むらの出ない距離でご使用ください。
また、本機の上に磁気記録のカード類(キャッシュカードや定期券など)、テープ類(ビデオテープやカセットなど)、ディスク類(フロッピーディスクやMDなど)、および磁気の影響を受けやすい物を置かないでください。磁気により、データの消失や破損の原因となります。
- アンプからの入力は適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損する恐れがあります。
また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

設置上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙が当たる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。
- 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振がおきないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
- スピーカーシステムと聴取位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。
- 振動で落下したり、設置場所を傷つけないように、底面に付属のすべり止めゴム脚を貼ってご使用ください。

前面グリルの着脱について

本機の前面グリルはマグネットでキャビネットに固定されており、取り外すことができます。

- グリルの着脱は、爪などで傷が付かないよう慎重に行ってください。

接 続

スピーカーケーブルについて

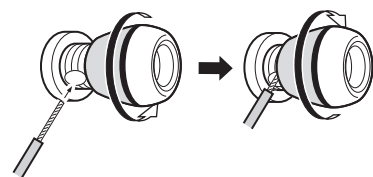
- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。シールドされた平行ケーブルがおすすめです。同軸ケーブルや、リッツ線を使用したケーブルは、キャパシタンスが大きいため音質に影響を与えるおそれがあります。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

接続のしかた

- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。

より線の場合

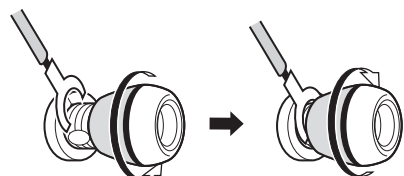
ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



Yラグの場合

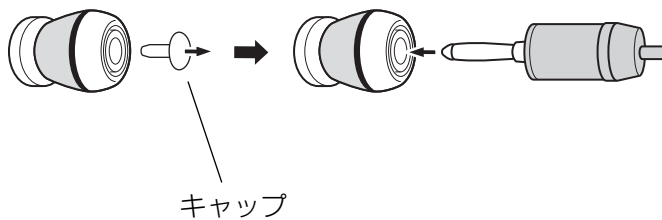
ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。

- Yラグ端子で接続する場合は、内径8mmのものをお使いください。



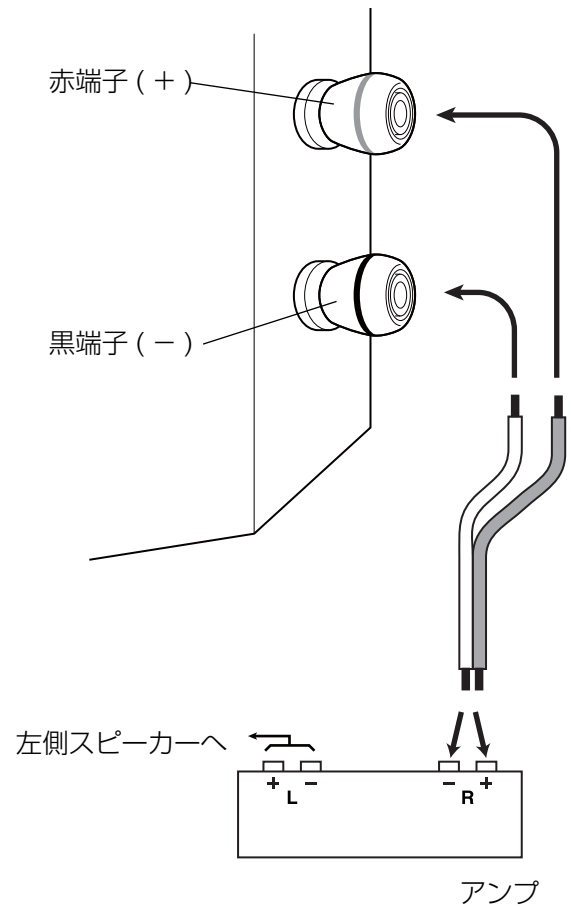
バナナプラグによる接続

- 接続の際にバナナプラグを使用すると、プラグを差し込むだけで簡単に接続できます。
スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグを入カターミナルに差し込みます。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。
- バナナプラグで接続する場合には、端子のキャップを外してください。



アンプと接続する

本機背面の端子と、アンプのスピーカー端子を接続します。
+端子同士、-端子同士を、スピーカーケーブルで接続してください。

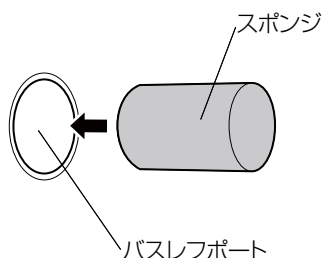


位相チェックについて

- 左右のスピーカーの極性(+・-)が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。
- 位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。このような場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性(+・-)を確認してください。一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

低音の調節

小さな部屋でご使用の場合など、低音が鳴りすぎて耳障りなときは、付属のスポンジを使って低音を調節することができます。
背面のバスレフポートにスポンジを差し込んでお好みで調節してください。



お手入れ

- エンクロージャーの仕上げは、天然木です。長いご使用の間に、照明などの影響で、表面は暗く落ち着きのある色艶に変化します。
- エンクロージャーの木部は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、堅く絞った柔らかい布などで水拭きしてください。一般の床用ワックスや化学ぞうきん、またはベンジンやシンナー系の液体などでは、絶対に拭かないでください。エンクロージャー表面の変色やひび割れなどの原因になることがあります。
- グリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

仕様

エンクロージャー型式	バスレフ方式(リア)
使用ユニット	4インチ同軸2ウェイ (ネオジウムマグネット/ 100mmファイバーパルプ コーン型ウーハー/ 19mmチタニウムドーム ツイーター)
能率	88dB(W/m. 1kHz)
連続許容入力 (RMS)	50W
最大許容入力 (瞬間)	200W
入力インピーダンス	8Ω
クロスオーバー周波数	2.3kHz
周波数特性 (-6dB)	68Hz~54kHz
エンクロージャー材質	高密度パーティ合板
エンクロージャー仕上げ	チーク無垢/突き板仕上げ
エンクロージャー容積	3.5ℓ
外形寸法 (W×H×D)	210×345×130mm
質量	4.0kg/台
付属品	取扱説明書×1、保証書×1 ゴム脚×8、スポンジ×2

※仕様およびデータは英国タンノイ社の発表によるものです。外形寸法は弊社の計測値です。

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめのうえ、お受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談、およびご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社ティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。詳細につきましては、保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

型名: タンノイスピーカー オートグラフ・ミニ Autograph Mini

シリアルNo.:

お買い上げ日:

販売店名:

お客様のご連絡先

故障の状況 (できるだけ詳しく)

廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話:042-356-9235 / FAX:042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話:04-2901-1033 / FAX:04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。